

令和元年 11月 29日

日本学術会議会長 殿

科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員長
渡辺 美代子

日本学術会議主催学術フォーラム企画案募集について（回答）

令和元年 10月 1日付府日学第812号をもって依頼のありました標記について、
下記のとおり回答します。

記

1 フォーラムのテーマ

拡がるスポーツー東京オリンピック・パラリンピック後のスポーツを考えるー
（仮）

2 企画趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控え、学術の観点からスポーツの在り方を考える機会が訪れている。スポーツ庁は、東京オリンピック・パラリンピック後を視野に入れて「第2期スポーツ基本計画」を策定し、スポーツ振興策を推進している。この施策の基本は、国民に科学的エビデンスや知見に基づく「スポーツの価値」を普及・啓発することにある。ルール化された身体運動という意味でのスポーツは、現代社会を構成する重要な要素であるが、その在り方が時代とともに変化することに着目する必要がある。それゆえに、スポーツは、スポーツ独自の問題にとどまらず、科学や技術、思想、社会、人びとの生き方、共感の在り方と深くつながり、学術の観点からの再検討が必要である。このような状況の中、スポーツ庁長官より、科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関して、学術会議に審議依頼があった。本フォーラムでは、スポーツ庁からの依頼により組織された、科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会から、審議依頼への回答を手交する。その後、障がい者のスポーツ参画や、プロスポーツ選手のセカンドキャリア

を含む、スポーツによって引き起こされる障害について話題提供を行う。また、「拡がるスポーツー東京オリンピック・パラリンピック後のスポーツを考えるー」をテーマに、パネルディスカッションを行う。

3 希望開催時期

令和2年 5月 7日(木) 13:30~16:30

4 コーディネーター

渡辺美代子 (日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員長・副会長・第三部会員, 国立研究開発法人科学技術振興機構副理事)

5 演題・演者等 (予定、交渉中のものも含む。)

総合司会:

田原淳子 (日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会幹事・連携会員, 国土舘大学体育学部教授)

高瀬堅吉 (日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会幹事・連携会員, 自治医科大学大学院医学研究科教授)

【開会の挨拶・スポーツ庁からの審議依頼の紹介】

渡辺美代子 (日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員長・副会長・第三部会員, 国立研究開発法人科学技術振興機構副理事)

【回答手交式】

山極壽一 (日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員・会長・第二部会員, 京都大学総長)

鈴木大地 (スポーツ庁長官)

【基調講演1】「当事者視点でみたスポーツのリスクと価値 (仮)」

熊谷晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター准教授)

【基調講演2】「パラリンピックブレイン (仮)」

中澤公孝 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

【基調講演3】「e-Sports とインターネット・ゲーム障害 (IGD) (仮)」

曾良一郎 (神戸大学大学院医学研究科教授)

【基調講演4】「プロスポーツ選手のセカンドキャリア（仮）」

田中ウルヴェ京

【基調講演5】「未定（仮）」

戸邊直人

【パネルディスカッション】「—東京オリンピック・パラリンピック後のスポーツを考える—（仮）」

司会：山口香（日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会副委員長・特任連携会員，筑波大学体育系教授）

パネリスト：

遠藤 謙（日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員・特任連携会員，ソニーコンピュータサイエンス研究所リサーチャー，株式会社 Xiborg 代表取締役）

神尾陽子（日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員・第二部会員，お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所人間発達基礎研究部門客員教授，国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部客員研究員）

川上泰雄（日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員・連携会員，早稲田大学スポーツ科学学術院教授）

喜連川優（日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員・連携会員，情報・システム研究機構国立情報学研究所所長，東京大学生産技術研究所教授）

田嶋幸三（日本学術会議 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会委員・特任連携会員，日本サッカー協会会長）

藤江陽子（スポーツ庁審議官）

【閉会の挨拶】

山極壽一

6 関係部の承認の有無
有

7 その他希望事項（開催場所等）

開催場所は日本学術会議講堂を希望する。企画実施に係る経費負担は必要である。担当職員の人的支援は必要である。

注) 1 企画案の提出に当たっては、上記1～7の項目をできるだけ詳細に記入して

ください。特に講演を企画するに至った企画趣旨は必ず記入してください。
記入漏れのある場合は、書類不備扱いとなり、審議されない場合があります。

2 演題・演者が未定の場合には、分野だけでも記入してください。